

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 掛川市 (都道府県: 静岡県)
 本事業の担当部局名 こども希望部 こども政策課

事業メニュー	結婚新生活支援事業		
区分	結婚新生活支援		
関連事業メニュー	4.2 新規に婚姻した世帯に対する住宅取得費用又は住宅賃借費用に係る支援及び引越費用等に係る支援(都道府県主導型コース)		
個別事業名	掛川市結婚新生活支援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度 令和3 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	12,000,000 円		
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 掛川市においては、令和3年度の婚姻数が433件、出生数843件と過去と比べて、多少の増加はあるものの、経年的に低下傾向にあり、緊急的に対策を講じる必要があります。そのため、これらの数値を増加させるために、経済的な理由等により結婚に対して前向きになるように若い世代に対して支援する必要があるため、当事業を実施します。 <本個別事業の位置付け> 「第2期掛川市地域創生総合戦略」における重点施策の一つとして「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を掲げており、重点プロジェクトとして①学びの協働アクションプログラム②子どもは地域の宝 地域の子育て向上プロジェクト③家庭の子育て力・教育力向上プロジェクト④企業の子育て力向上プロジェクト⑤結婚・出産・子育て環境整備プロジェクトを取組むこととしています。本事業については、上記取組の⑤に位置づけられます。 (本個別事業における現状と課題) (課題への対応)		

個別事業の内容 ※(注)3	1. 概要				
	【補助対象要件】				
	・所得要件	<input checked="" type="checkbox"/>	夫婦の合計所得が500万円未満	<input type="checkbox"/>	自治体独自基準の場合
	・年齢要件	<input checked="" type="checkbox"/>	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯	<input type="checkbox"/>	自治体独自基準の場合
	【補助上限額】				
	29歳以下の場合	<input checked="" type="checkbox"/>	各費用に係る合計が60万円	<input type="checkbox"/>	自治体独自基準の場合
	39歳以下の場合	<input checked="" type="checkbox"/>	各費用に係る合計が30万円	<input type="checkbox"/>	自治体独自基準の場合
	【対象費目】				
	<input checked="" type="checkbox"/>	家賃	<input checked="" type="checkbox"/>	住宅購入費用	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	リフォーム費用	<input checked="" type="checkbox"/>	引越費用	
【その他独自要件】					
2. 申請見込					
①新規世帯見込					
上記のうち		25	世帯		
		ともに29歳以下	15	世帯	
		左記以外	10	世帯	
【積算根拠】					
令和4年11月時点で、実績として1カ月平均2.4件の申請があり、令和5年度の申請件数として22件(6月中旬からの申請で2.4件×9.5か月)を見込むが、補助の対象となる世帯が拡大されることから、25件(22件×1.18)の申請を見込む。(本市の18歳～39歳の世帯のうち、世帯所得合計が400万円以下の世帯と、500万円以下の世帯を比べると、約18%増であるため、推定される数値の18%増とする。)			【令和4年度申請状況】		
			令和 4 年 6 月 ~ 令和 5 年 3 月		
			申請 実績 世帯数 33 世帯		
②継続補助見込					
見込世帯数		継続補助実施の有無		無	
対象経費支出予定額				世帯 円	
3. 広報の実施予定					
市広報誌での周知、市のホームページへの掲載(LINEでの情報発信)、担当課窓口にてパンフレットの配布、関係各課へのパンフレット配架依頼。					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	婚活サポーター制度登録者の成婚数	組	3 (R5)	1 (R4)
	子育ての環境整備に満足している市民の割合	%	60 (R5)	37.8 (R4)
	安心して出産・子育てできる環境が整っていると思う割合	%	44 (R5)	31.2 (R4)
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	1.64 (H25～H29) 厚生労働省:R2公表値)	
	婚姻件数	件	415 ((R2) 静岡県人口動態統計:R4公表値)	
	婚姻率	%	3.8 ((R2) 静岡県人口動態統計:R4公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	支給世帯実績/支給見込世帯数の割合	%	100	100 (R3)
	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	60	47 (R3)
	結婚新生活支援事業に関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	95	88 (R3)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	県が作成した父子手帳(改訂版)を申請者に対して配付し、出生時育児休業についての案内をするとともに、県が実施する講座のチラシを配付する。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	市内の結婚式場へのパンフレット配架による周知依頼			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。

①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)

③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。